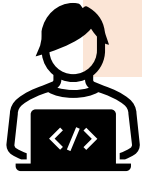


# こどもの自殺対策緊急強化プランに関する概算要求のポイント

## リスクの早期発見

1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の全国の学校での導入推進

6億円（新規）



※ いじめ対策・不登校支援等に関する調査研究【委託】  
1,323百万円（50百万円）の内数

## 的確な対応

こども・若者の自殺危機対応チームによる支援者支援の更なる推進

52億円の内数（35億円の内数）



※ 地域自殺対策強化交付金及び調査研究等業務交付金  
52億円（35億円）の内数

## 要因分析

こどもの自殺に関する情報を集約し、多角的に分析するための調査研究の実施 0.2億円（新規）



## こどもが自ら命を絶つようなことのない社会の実現

- 調査研究等業務交付金による自殺対策に関する調査研究等の体制強化 6.0億円（4.9億円）
- こども家庭庁の自殺対策室の体制強化（専任の管理職及び職員の配置） 組織・定員要求

# こどもの自殺対策緊急強化プランのポイント

## リスクの早期発見

1人1台端末の活用等により、自殺リスクの把握や適切な支援につなげるため、有償・無償で利用できるシステムやその活用方法、マニュアル等を整理・作成し、全国の教育委員会等に周知し、全国の学校での実施を目指すとともに、科学的根拠に基づいた対応や支援を可能とするための調査研究を実施し成果を普及する



## 的確な対応

多職種の専門家で構成される「若者の自殺危機対応チーム」を都道府県等に設置し、自殺未遂歴や自傷行為の経験等がある若者など市町村等では対応が困難な場合に、助言等を行うモデル事業の拡充を図るとともに、より効果的な取組となるよう、運営に関するガイドラインの策定も含め、実施自治体に対し、指定調査研究等法人が必要な支援を行う。その上で、「若者の自殺危機対応チーム」の全国への設置を目指す



## 要因分析

警察や消防、学校や教育委員会、地方自治体等が保有する自殺に関する統計及びその関連資料を集約し、多角的な分析を行うための調査研究を立ち上げ、EBPMの視点も踏まえ、こどもの自殺の実態解明に取り組むとともに、分析に当たっての課題把握に取り組む



**こどもが自ら命を絶つようなことのない社会の実現**